

第2学年 英語科学習指導案

日 時 平成20年10月17日(金)5校時
学 級 2年B組(男子12名 女子9名 計21名)
授業者 皆方 敦

1. 単元名 Unit5 A Park or a Parking Area?(New Horizon English Course 2)

2. 単元について

(1) 教材観

駅前に置かれた自転車が倒れて女の子がけがをする事故をきっかけに、公園に駐輪場をつくるべきかどうかの議論が新聞で紹介される内容である。Reading for Communicationは接続詞を用いた長い文が多く、生徒は文の構造の理解に難しさを感じるものと思われる。また、文法事項として従属接続詞if, that, when, becauseが連続して出ており、既習の接続詞and, so, butと比較し、関連付けて指導したい。

(2) 生徒観

男女ともに素直な生徒が多く、授業態度も落ち着いている。英語への興味・関心が高く、積極的に取り組んで力をつけている生徒もいるが、一方で、これまで学習した基本的な事柄の理解が十分でない生徒もおり、英語への苦手意識を持つ者も少なくない。そのため、一斉の発音や音読練習などでは、全体的に声が小さくなりがちである。指導方法を工夫し、生徒の英語学習への意欲を高めていきたい。

(3) 指導観

個別の支援など、指導方法の工夫により、英語学習への意欲を高め、1人1人が自信を持って読んだり書いたりする活動に取り組めるようにしたい。この題材では、コミュニケーション活動を通して、さまざまな接続詞を用いることで自分の考えや感じたことをより豊かに表現できることを感じ取らせたい。そのため、接続詞を使つてのパターン練習の時間を十分に確保し、自信を持って表現できるようにしていきたい。また、生徒の能動的な学習態度と実践的コミュニケーション能力を育成するため、現実に近い場面を設定し、英語でコミュニケーションができるようにしたい。それらの活動をする中で自分の意見や考えを英語で述べ、その理由を言うことができるようにしていきたい。

(4) キャリア教育との関わり

言語活動を通じて、人間関係形成能力を育成したい。具体的には、4領域の「読む」「聞く」「話す」「書く」活動を通じて、英文を理解し、内容が伝わるように正しく音読したり、自分の意思やしなければならないことを英語で書いたり話したりすることで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てたい。

3. 学習指導目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

初歩的な英語を用いて自分のことを表現したり、情報を得たりする活動に積極的に取り組ませる。

【表現の能力】

さまざまな接続詞を使って、対話や自己表現をさせる。

【理解の能力】

さまざまな接続詞が使われた英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解させる。

【言語や文化の知識・理解】

さまざまな接続詞が使われた文の形、意味、用法を正しく理解させる。

4. 指導計画(総時間9時間 本時5/9)

時数	学習内容	具体の評価規準			
		関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化の知識・理解
1	Starting Out ・本文の内容理解	意欲的に音読練習に取り組むことができる。	正しい発音、イントネーションで本文を音読できる。	if節を含んだ文を聞いたり、読んだりしてその内容を理解することができる。	
2	Starting Out ・if節の文の形や意味、用法の理解と表現		if節を用いた文を正しい語順で書くことができる。		if節を用いた文の形や意味、用法を理解することができる。
3	Dialog 対話文の内容理解	意欲的に音読練習に取り組むことができる。	本文の内容を把握し、役になりきって音読ができる。	対話文の内容を理解することができる。	
4	Dialog ・that節の文の形や意味、用法の理解と表現		that節を用いて自分の考えを英語で書くことができる。		that節を用いた文の形や意味、用法を理解することができる。
5	Reading for Communication① ・本文の内容理解(本時)	英字新聞の記事の内容を理解し、その問題について自分の考えを持つことができる。	正しい発音、イントネーションで本文を音読できる。	英字新聞の内容を正しく読み取り、理解することができる。	
6	Reading for Communication① ・when節の文の形や意味、用法の理解と表現		when節を用いて、自分や友達の気持ちを説明する英文を書くことができる。		when節を用いた文の形や意味、用法を理解することができる。
7	Reading for Communication② ・本文の内容理解	英字新聞の投書の内容について理解し、自分の考えを持つことができる。		英字新聞の投書の内容について読み取り、理解することができる。	

8	Reading for Communication② ・because節の文の形や意味，用法を理解し，表現できる。		because節を用いて自分の考えや理由を話すことができる。		because節の文の形や意味，用法を理解することができる。
9	Unit5のまとめ ・学習した接続詞節の文の復習	既習の接続詞を用いて，自分の考えなどを意欲的に伝えることができる。	既習の接続詞を用いて，つながりのある英文を書くことができる。	既習の接続詞を含んだ英文を聞き取ることができる。	

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・英字新聞の内容について読み取り，理解することができる。
- ・本文を正しく音読することができる。

(2) 具体の評価基準

状況例 評価の観点	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	支援を必要とする生徒への手 だて(C)
本文を正しく音読することができる。 【表現の能力】	単語の発音に注意し，文のイントネーションに気をつけて音読することができる。	本文の音読ができる。	1つ1つの単語の読みがきちんとできるよう，アドバイスしながら反復練習を行わせる。
英字新聞の内容について読み取り，理解することができる。【理解の能力】	英字新聞の内容を具体的に理解できる。	英字新聞の内容を理解できる。	語彙や読み取りのポイントについてアドバイスする。

(3) 本時の展開

段階	指導内容	生徒の学習活動	留意事項(・)と評価(※)
導入 10分	1. あいさつ 2. Warm-up 3. 前時の復習 4. 題材内容に関する導入と学習課題の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にあいさつをする ・教師のQuestionsに答える ・教科書の音読をする ・日本のニュースを伝える英字新聞を見て何のニュースか推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語授業の雰囲気を作る。 ・机間指導をする。 ・教科書p.52の読みへの動機を高める。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 英字新聞の記事を読んで内容について考えてみよう。 </div>		
展開 35分	5. 内容把握 (1) 範読を聞く (2) 新出語句の確認 (3) 概要把握 (4) 重要表現の確認 (5) 音読練習 (6) T or F (7) 新聞記事についての考えの記入	<ul style="list-style-type: none"> ・教師のモデルリーディングを聞く。 ・新出語句の発音, 意味を確認する(mim-mem) ・本文を読み, 学習シートのリーディングポイントに答える。 ・答え合わせをする。 ・大切な文法事項を確認する。 ・音読練習をする (Chorus Reading, Buzz Reading, Pair reading) 【コミュニケーション能力】 ・T or Fを行い, 答え合わせをする。 ・学習シートに自分の考えを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・Flash cards ※内容について読み取り, 理解できたか。 ・学習シート ・学習シート ・最初は意味のまとまりごとに区切って読ませる (Slash Reading) ・ペアでの練習や教え合いもさせる。 ※本文を正しく音読することができたか。 ・学習シート ・学習シート
終末 5分	6. 自己評価 7. 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を記入 ・次時の予告と課題の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動について振り返えさせる ・次時の予告をし, 課題を指示する